

第30回オホーツクサイクリング

元気に完走誓う



発行所
北海道新聞社
郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
© 北海道新聞社 2011



インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp
ご購入申し込みは
0120-464-104



雄武に1065人集結

9、10日の2日間で、順位やタイムを競わず、完走を目標にオホーツク海沿いの3市6町の雄大な景色を楽しみながら走る大会。今年は41キロの日帰りコースが新設され、152人がエントリーしており、212キロの913人と合わせて、1065人が参加を予定している。

雄武町で開かれた開会式では、橋本年功北海道新聞社北見支社長が「明日から2日間、オホーツクブルーの下、楽しんで走り抜けてください」と開会を宣言。大会長の田原賢一雄武町長が「30回の記念大会を迎えました。多くの人に支えら

れ、育てられました。心から感謝しています。すばらしい大会になるように祈っています」と歓迎のあいさつをした。30回連続参加の小倉優子さん(興部・64才)、小倉敬司さん(栗山・38才)、岸昇吉さん(旭川・65才)、佐々木芳友さん(湧別・64才)に記念品が贈られた。参加者を代表し、雄武・共栄小の児童4人が「元気に楽しく最後まで完走することを誓います」と交通安全宣言した。続いて開かれた前夜祭では、参加者は管内の特産品を堪能し、明日への英気を養っていた。



「最後まで完走します」開会式で安全宣言する左から尾田君、木村君、中村君、辻さん

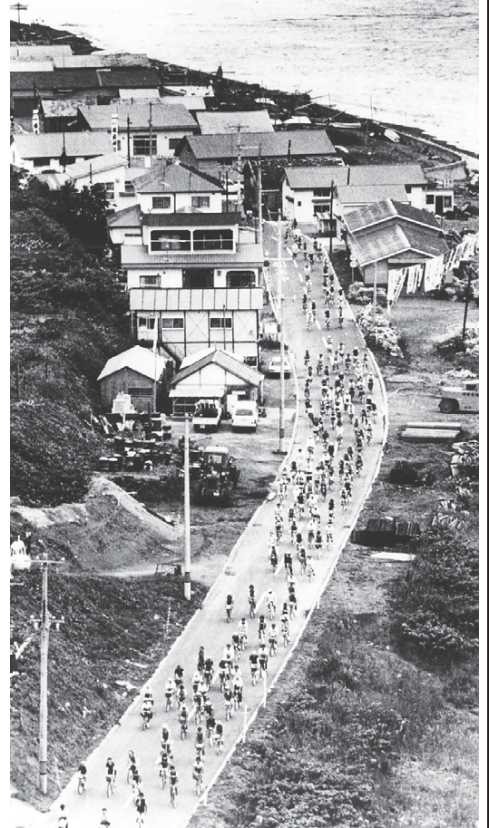


田原大会長から30回連続参加の記念品を受け取る左から小倉さん親子と岸さん

エゾキスゲの花が揺れる小清水原生花園前を
ゆったりと走る参加者 2009年7月12日



快走の30年



雄武町を出発する第1回オホーツクサイ
クリング 1982年7月17日、本社機か
ら

牛の着ぐるみ姿で特産の牛乳を勧める地元の女性 2006年7月8日、興部町
青い海と空をバックに、軽快に自転車に乗る参加者 2010年7月4日、網走市鱒浦



強い逆風の中、懸命にペダルを踏む6歳の男の子。父親が励ましながら後押し 1999年7月4日、小清水町

